



第8回議場コンサートは、佐貫中学校の1年生から3年生までの12人による琴演奏でした。十三弦が奏でる美しい音色で2曲が演奏され、議場内に澄みきった琴音が響き渡り、聴く人の心にひと時の安らぎを与えてくれました。また、琴演奏終了後には同中学校3年生の2人による日本剣道形7本の演武も披露されました。その清々しく勇ましい姿に多くの人が深い感動を覚えました。



「岬の沈む夕日」

写真提供 青木・森山利也さん

富津絶景¹⁴

富津市内には、素晴らしいスポットがあります。こっそり独り占めせず、歓びを分けて下さい。皆様のご応募をお待ちしております。(上記編集先まで)

12月定例会・委員会報告	2・3P
個人質問(8人)	4~7P
全員協議会ほか	8・9P
定住奨励制度	10P
議会改革	11P
トピックス、定例会日程	12P

12月 定例会

◆ 条例

▼富津市定住奨励条例が 制定されました

富津市内に定住を目的として、家を新築したり中古住宅を購入するとその土地建物の固定資産税相当額が7年間奨励金として交付されます。

市内建設業者が建設する場合や義務教育終了前の子供が世帯にいる場合は、一定の優遇が受けられます。年間18万円を限度とし、7年間で最高126万円が交付されます。

※詳細は、10頁をご覧ください。

12月の定例会は、11月30日から12月20日までの21日間で開催されました。議案13件、報告2件について審議を行いましたので、その主なものを報告します。

▼市の債権管理の方法が 統一されました

富津市の債権の滞納額は、合計で約21億8千万円あります。その大部分は市税（固定資産税や国保税）ですが、その他にも水道料金や給食費などの滞納があります。そこで市では、その債権の回収について共通のルールを条例で定めて管理してゆくことになりました。

富津市の債権には、次のようなものがあります。

- 市税 市民税・固定資産税・軽自動車税・国民健康保険料など
- 公債権 介護保険料・保育料・後期高齢者医療保険料・道路占用料・公の施設の使用料・手数料など
- 私債権 公営住宅の家賃・水道料金・給食費など

市税や使用料金を支払うことは、市民の公共サービス維持のために重要な市民の義務です。引き続き皆様のご理解をお願いします。

▼育英資金の債権管理が より明確になります

経済的理由により修学が困難な有用な人材を育成するため、「育英資金貸与条例」があります。学資を無利子で貸出し、卒業後に返還するという制度です。今回の一部改正では、連帯保証人の規定をはっきりさせました。

改正の主な内容

「連帯保証人2人」
父兄、母姉又はこれに代わる者

「成年で独立の生計、かつ債務弁済能力者」

「申請者の扶養義務者」

貸与額

高校生・高等専門学生 月額1万円以内
大学生 月額2万円以内

市の育英資金制度の他にも次のような民間の制度があります。

なお、制度の詳細は、学校教育課（80・1339）へお問い合わせください。

- ・独立行政法人日本学生支援機構奨学金制度
- ・あしなが育英会奨学金制度

◆ 補正予算

▼一般会計補正予算

障害者自立支援費、児童保育委託料、生活保護費などの扶助費及び標高表示板の設置に係る経費、並びに台風15号の被害による災害復旧に係る経費など2億6635万5千円を追加補正しました。

また、都市計画道路予定地及び（仮称）富津バスターミナル建設予定地を取得するための債務負担行為の追加なども行いました。

補正の主な内容

●防災費

・防災関係費（標高表示板設置委託料） 99万4千円
※津波災害に備え、沿岸地域の幹線道路等の東電柱200カ所に標高表示板を設置します。



東電柱に設置される標高表示板

●扶助費

- ・生活保護扶助費
生活扶助費1151万7千円
住宅扶助費1029万7千円
医療扶助費6767万0千円
※生活保護世帯数は9月時点で258世帯です。

●障害者自立支援費

- ・自立支援総務関係費（障害者自立支援システム修正委託料）
357万0千円
- ・介護給付事業（扶助費介護給付費）
5317万3千円
- ・訓練等給付事業（扶助費訓練等給付費）
713万8千円
- ※利用者増加のため。
- ・グループホーム運営費補助事業（運営費補助金）
669万1千円
- ・地域活動支援センター事業（委託料）
754万5千円

●予防費

- ・母子保健事業（成長記録用ラフサポートファイル印刷製本費）
50万0千円

●保育所費

- ・私立保育園運営事業（児童保育委託料）
1825万8千円
- ※入所児童増加のため。
- ・公立学校施設災害復旧費
714万0千円

※震災による飯野小学校校舎南側外壁崩落の復旧工事

●学校管理費

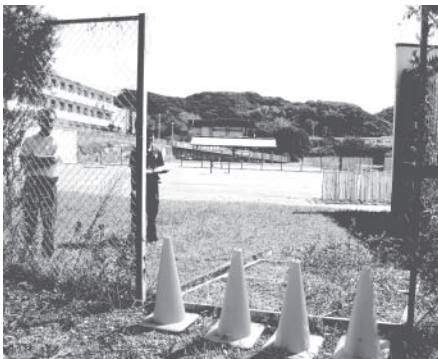
- ・小学校管理運営費
239万1千円
- ※台風15号による修繕料（青堀・富津・飯野・吉野・佐貫・湊・天神山・金谷・環小学校）



被害を受けた青堀小学校体育館の外装

・中学校管理運営費

- 163万8千円
- ※台風15号による修繕料（大貫・天羽・天羽東中学校）



被害を受けた大貫中学校校庭のネットフェンス

●塵芥処理費

- ・最終処分場管理運営事業（重機借上料）
73万1千円
- ※放射能に汚染された可能性のある廃棄物の覆土（上から土をかぶせること）に係る経費

●農業振興費

- ・農作物被害対策事業（委託料）
140万0千円
- ※イノシシ被害に備える経費

●債務負担行為の追加内容

- ・都市計画道路神明山1号線用地
取得事業（平成23年度から32年度まで）

用地（篠部地区の民有地）取得事業費1174万2千円以内とその利子などの合計額を限度額として追加しました。



取得用地位置図

- （仮称）富津バスターミナル用地取得事業（平成23年度から32年度まで）

用地（大堀地区の民有地）取得事業費2億2000万円以内とその利子などの合計額を限度額として追加しました。



（仮称）富津バスターミナル建設予定地（青堀ふれあいシニア館隣接地）

●債務負担行為 予算は単一年度で完結するのが原則ですが、例外として将来にわたる支払義務に対応するため、あらかじめ年度の債務を約束することを「債務負担行為」と言います。

◆人事案件

▼人権擁護委員

区分	氏名	住所
新任	石原千枝子	台原

※任期は、平成24年4月1日から平成27年3月31日までの3年間です。

第3次基本計画、実施計画と富津市の現状について



石井 志郎
議員

問 県道路線整備計画の状況は。
建設部長 本郷バイパスは今年度に詳細設計・用地測量を実施。平成24年度以降、用地買収を行うと聞いている。

問 公共施設の洋式トイレ設置の現状と今後について。

市民部長 コミュニティセンターの洋式トイレ化は2館が整備済み。今後、未整備の施設は地域の実情や状況等を勘案し、順次整備する。
建設部長 ふれあい公園内トイレはほとんど和式便器であり、今後改修工事等の必要が生じた場合、洋式便器の設置を検討したい。

教育部長 学校施設は竹岡小学校を除き全体で2割は洋式トイレ対応となっている。竹岡小学校はポータブルトイレを設置している。
問 がん検診率の向上など、現状と課題、新しい取り組みは。

健福部長 受診率は、平成23年度胃がん3.5%、肺がん20.3%、子宮がん5.9%、乳がん10.3%、大腸がん5.7%となっている。がん検診の受診率は上昇しているが、まだまだ低い。今後、様々な団体に働きかけ、更なる受診率の向上を目指したい。また、がん予防対策基本条例を現在部内で検討してお

り、早い段階で方向性を示したいと考えている。
問 定住奨励策発表後の反響は。
企財部長 新聞掲載後、電話の問い合わせ、直接部においてになるお客さんが増えている。周知を重ねれば更に多くなると思う。

問 職員で市外に転居した人数と市外からの通勤者は。年代別の転出者数は。年収での影響額は。
総務部長 市職員で市外から通勤している方は143人、採用時に富津市に居住があり、その後市外に転出した職員は65人。65人の内訳は20代13人、30代14人、40代14人、50代24人。65人の住民税の関係は、1年間で約1460万円になるうかと思う。

問 今後の予防接種等の取り組みとその対応について。

健福部長 一番重要なことは、市民の意識の高揚だと思ふ。市民の健康を守るため継続していきたい。

問 市役所庁舎前の県道は一部歩道整備を行ったが、今後の計画は。

建設部長 青堀方面へ一部用地買収を終えたので、本年度100mの工事を行う予定と聞いている。



早期開通が待たれる本郷バイパス予定地

市民の健康増進・道路網の整備と歳入確保



永井庄一郎
議員

問 生活習慣病の予防や特定健康診査等の事業の現状について。
市長 各種がん検診を初め、各健康教室を行っている。生活習慣病に重点を置いている。予防接種も集団検診や医療機関で個別実施している。それぞれ受診率を増やすことが課題であり、検診日数の増加や広報等により更に周知する。

問 健康で長生き、長寿のまちを目指してもらいたい。新たな予防接種追加の3項目についての実施状況と問題点について伺う。
健福部長 子宮頸がん予防ワクチン、ヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチンの10月までの延人数は1108人となっている。子宮頸がんワクチンは、当初、数量が不足していたが、8月以降は順調に接種できている。

問 今後の予防接種等の取り組みとその対応について。

健福部長 一番重要なことは、市民の意識の高揚だと思ふ。市民の健康を守るため継続していきたい。

問 市役所庁舎前の県道は一部歩道整備を行ったが、今後の計画は。

建設部長 青堀方面へ一部用地買収を終えたので、本年度100mの工事を行う予定と聞いている。

県道青堀線の交差点までは、来年度の交付金を活用し、歩道を含めた事業を検討している。
問 千種新田篠部境線の見通しと用地取得について。

建設部長 この路線は、国道465号バイパスに位置付けされている。消防防災センターの建設などにより重要なルートとなるため、整備を県に要望している。また、道路用地を先行取得する作業を進めている。未買収用地の約4割を取得する予定である。

問 厳しい収支見込みの中で、歳入確保の方策を伺う。
市長 市税等の増加が期待できないため、徴収強化、基金の活用、財産処分、補助金の活用等を行う。



消防防災センター造成工事と今後の整備延伸が待たれる県道大貫青堀線

*個人質問の時間は、質疑・答弁を含め1時間以内です。紙面の都合で僅かしか掲載できませんので、ぜひ議会傍聴にお越し下さい。時間の都合のつかない方は、市役所1階の「行政資料コーナー」の会議録を、またはホームページ内で詳細をご覧ください。

「安心・安全」への取り組み



佐久間 勇
議員

問 「安心・安全」への取り組みも、3・11以降状況が変わった。津波に対する防災対策は。

市長 人命を守るため、避難優先が最重要。津波危険区域内の避難地や避難経路を設定し、避難体制の確立を図る。また、津波・高潮ハザードマップの作成、海拔表示、避難地等の表示板の掲出に努める。

問 標高の低い富津公園における安全対策は。

総務部長 浸水区域は県で現在見直し中。避難に時間的余裕がない場合、鉄骨・鉄筋コンクリート造り2階建以上の建物を緊急避難場所として、今後施設利用の協定を結ばせて頂きたいと考える。中の島展望台は標高13・5mで富津岬荘は6・5mあり、一時的には避難できる。

問 富津岬荘が来年3月をもって閉鎖されるが、その理由と影響は。

経環部長 民間と競合する公的施設の廃止または民営化が閣議決定されている。老朽化し耐用年数を限度に廃止、閉鎖を考えている。

市民部長 閉鎖による影響は法人市民税や個人市民税が考えられる。

経環部長 雇用面で影響が考えられるが、農水産物の消費は、今ま

での宿泊者が周辺の旅館・民宿に移れば、そちらで対応できる。

問 解体延長の要望はあるか。

経環部長 富津岬荘解体工事延期の協議会から要望書が出ている。要望を受けどう考えるか。

問 要望を受けどう考えるか。

経環部長 閉鎖後すぐに解体は難しい。平成27年まで設置許可を得ているので県と協議したい。

問 防災を取り巻く状況変化も考慮し、再検討する英断がほしいが。

市長 問題を抱え希望がほしいが。

問 千種新田篠部境線は市役所に通ずる避難路となるが、現状は。

建設部長 区画整理事業の中止で止まっている。重要性を鑑み、県への要望のみならず、早期完成に向けて先行取得も考える。



「観光地の津波対策は？」

保健事業の取り組みについて



平野 良一
議員

問 保健事業についてと糖尿病について、それと子育て支援、親子で利用できる児童館の設置、小糸川漁港の管理について、無断駐車についてお聞きする。

市長 結核・肺がん検診、乳がん検診等の各種検診と健康診査を実施している。次に糖尿病については、受診者の血糖及びヘモグロビンA1Cの数値に応じて個別健康相談や医療機関への受診勧奨を行う。子育て支援センターについては、青堀保育園及び和光保育園にある。無断駐車については、県に対し看板が外れたり、汚れたり支障のあるものについては、看板の増設を含め、漁港の維持管理をお願いしていきたいと考える。

問 特定健診の受診率は。

健福部長 平成21年度は目標値47%に対し34・5%、平成22年度は目標値53%に対し39・5%である。

問 原因はどこにあるのか。

健福部長 健診に対する関心の低さ、薄さを感じられる。

問 近隣3市の受診率は。

健福部長 平成22年度は袖ヶ浦市で47・1%、木更津市で33・8%、君津市で40%である。

問 検診率を上げるためにどのよ

うな手段を行っているのか。

健福部長 平成22年度には、未受診者8728人に対し2361人の訪問をし、追加健診の実施を4日間設けた。

問 人工透析をしている方は。

健福部長 慢性腎不全で登録されている方は、今日現在で163人である。

問 児童館は、隣の君津市にはあるが、富津市の人は使わせてもらえないとの話を聞いた。先ほどの保育園の利用は有料かどうか。

健福部長 無料である。

問 無断駐車をなくす対策として企業庁の土地を利用できないか。

経環部長 相談した結果、難しいとのことである。



「コントロール優を目指してー花月クリニックの糖尿病治療の実際」と題した講演会の様子

*個人質問の時間は、質疑・答弁を含め1時間以内です。紙面の都合で僅かしか掲載できませんので、ぜひ議会傍聴にお越し下さい。
時間の都合のつかない方は、市役所1階の「行政資料コーナー」の会議録を、またはホームページ内で詳細をご覧ください。

前期実施計画と教育現場の防災教育について



岩本 朗
議員

問 第3次基本計画の推進テーマである、「安心して子育てできるまち」の、実現に向けての来年度予算編成の考え方は。

市長 第3次基本計画における前期実施計画の位置づけを踏まえて、前年度以上に健全財政を見据えた中、可能な限り、実施に向けた予算編成作業を行っている。

問 推進テーマ達成に向けてどのような所に力を入れていくのか。
企財部長 予算編成については、前期実施計画を踏まえた方針となっているので、実施計画に計上されている事業を最優先と考えている。

問 小中学校における防災教育の現状と今後の取り組みについて。
教育長 これまで学校では、安全教育に関する年間計画に基づき火災や地震、不審者の侵入などを想定した訓練を少なくとも年間2回は実施している。また、このたびの東日本大震災以降、津波への対応も含めた避難経路の確認、迅速な避難の仕方などについて、改めて見直しを行っている。

問 児童生徒さんは津波発生時に對して、避難は徹底されているのか。

教育長 すべてに徹底されているかと問われれば、もちろん大丈夫であるとはなかなか言いきれないが、市内では保育園と小学校が共同で、より高く安全な小学校の校舎に逃げる訓練であるとか、近隣の学校同士で高い所を探して、そこに避難経路を設定するとか、工夫もされている。

問 緊急時の対応マニュアル等の検討は進んでいるのか。
教育長 各学校に応じた実行力のある形だけにならないマニュアルをつくりたいということで、現在学校とのやりとりと、総務防災課とのやりとりを行っているところであり、できるだけ早く作り上げたいと思っている。

問 緊急時の対応マニュアル等の検討は進んでいるのか。
教育長 各学校に応じた実行力のある形だけにならないマニュアルをつくりたいということで、現在学校とのやりとりと、総務防災課とのやりとりを行っているところであり、できるだけ早く作り上げたいと思っている。



3.11の大震災で被害を受けた飯野小学校の様子

東電の原発事故の市民への影響と高い国保税



松原 和江
議員

問 放射能の測定状況はどうなっているか。

市長 6月に簡易測定機で小中学校の空間線量の測定。以後プール水、保育所や小学校の土壌、公共施設の空間線量の測定を定期的に実施。10月からは、新機種で公会堂、公民館の調査を実施している。

問 保育所や学校給食の食材は、どのように安全だと判断しているのか。
教育部長 5月に富津産のコマツナの検査を実施。放射性物質は不検出。それ以降は、市独自で検査をしていない。

問 放射性廃棄物を埋め立てている大平興産(株)の説明会が、天羽地区を対象に実施されたが、放射性物質の搬入を認めた県と市が全市民に説明会をすべきだが。
経環部長 事業者はどこか会場を借りて、再度説明会をしたいと。県に、そこに来るよう要望している。

問 国保税は高い。市民の負担は。
健福部長 昨年度一人当たり年額10万9539円。1世帯当たり20万6748円。県内市町村の中で上から2番目。
問 滞納世帯は。

健福部長 昨年度1859世帯。加入者の2割弱。

問 国保税が高い原因は。

市長 富津市では、一人当たりの医療費が高いため。

問 国保税を引き下げるには。

市長 みなさんが健康で生き生き生活すること。特定健診の受診を。

問 近隣3市の特定健診料は無料。富津市も無料にすべきだが。

健福部長 受けやすい環境整備の一つとして、努力したい。

問 歯周病は、さまざまな病気に関係している。歯科健診の導入を。

健福部長 近隣市は40から70歳代まで、節目の年齢で実施している。検討していく事項と認識している。



天羽地区区長・住民を対象に行なった現地説明会=11月18日

まちづくり団体等のネットワークづくり



平野 明彦
議員

問 市民との協働についての考え方は。

市長 第3次基本計画でも、地域企業、NPO、行政間の交流や連携を深め、人と人との繋がりによる新しい取り組みや課題解決が出来る仕組みの構築を目指しており、まちづくり団体等と連携を進め、活動し易い環境の整備を図ります。
問 担い手としての市民を考えると、人も富津市の資源である。富津市の人口の年齢別構成は。

市民部長 9歳まで6.1%、10～19歳8.9%、20～29歳9.4%、30～39歳10.9%、40～49歳11.8%、50～59歳13.9%、60～69歳17.5%、70～79歳12.7%、80歳以上で8.5%です。

問 経験を積んだ人たちが地域社会に戻ってくると考えれば、人材は豊富にある。かずさ青年会議所による市民協議会、かずさまちづくりデイスカッションの様子は。

企財部長 まちづくりの一つの方法だと考えており、大変有意義だったと聞いている。是非また開催してみたいと考えている。

問 繰り返しやることが人を育てる市で顔づくり事業を行った団体

は、どういった活動をされてきたのか。

企財部長 平成14年度から14団体に補助、助言もしてきた。それぞれ独特な地域に合った、根ざした活動をしている。

問 独自に頑張っている人たちに応援、また増やしていくことが、まちづくりに求められている。こうした人たちに応援するためにも、市民が誇れる市の顔づくり事業も次の展開を考える時期だと思つ。まちづくり団体のネットワークづくりについてはどうか。

企財部長 10年近くやってきている。これからのネットワークづくりも含め、協働を考えた中で進めていきたい。



金谷ストーンコミュニティによる活動

対話から生まれる政策



藤川 正美
議員

問 市長対話集会の成果と課題は。

市長 今まで7会場を実施し参加者454名。今後の課題は、開催方法の創意工夫、市民の声を集約し、いかに施策に反映させるか。

問 防災情報の周知の充実は。

総務部長 かずさFMと災害放送の協定を結んだ。現在、送信所は木更津の太田山だが鹿野山に移設計画があり、実現すれば富津市でも聴けるようになる。災害時緊急放送の企画も提案されている。

問 防災ラジオの調査・研究の考えはあるか。

総務部長 今年9月に試作品を作り現在試験中だが、混信が多い。
問 投票所入場券の裏面に宣誓書の印刷をしたら、もつと投票しやすくなると思うが。

選管局長 選挙人の投票しやすしい環境づくりは、選挙への関心と投票率の向上にもつながるので選挙管理委員会に協議したい。

問 文部科学省の航空機モニタリング測定結果をみると、市内でも地域差がある。印象を聞きたい。
経環部長 市の北側の君津市境と富津市の一部に地上1mで0.2～0.1マイクロシーベルトがある。国の示す年間1ミリシーベルト、1時

間当たり0.23マイクロシーベルトより下がっているが、今後もモニタリングを継続し監視していく。

問 過日、回覧板に東電に対する農業被害補償についての用紙があった。この背景は。

経環部長 農漁業組合に加入している人は、既に東電に対し、組合が損害賠償請求している。今回は個人で営んでいる人が対象のお知らせ。個々については東京電力の賠償の窓口がある。

問 大塚山産廃処分場の放射線量は、今後、県が測定・公表となった。放射線については、市民の理解が不可欠。その意味からも市民を対象とした講座などを設けては。

経環部長 検討していきたい。



市長の市民との対話集会は、小学校区（12校あるが一部が合同開催し、11会場）ごとに開催された。

**消防防災センター
整備事業等の進捗状況**

消防本部・消防署本署と富津出張所を統合し、防災備蓄倉庫などを兼ね備えた消防防災センターを市役所本庁舎北側の敷地内に整備するため、敷地の造成が進められています。

なお、施設の概要は次のとおりです。

敷地面積 約15000㎡
施設延べ面積 事務所棟、車庫棟、訓練塔、防備蓄倉庫棟、エネルギー棟
(約3400㎡)

平成23年度 実施設計
平成24年度 建築工事
平成25年度 運用開始予定



敷地（富津郵便局裏）造成の様子

**千葉県南12市議会議長会
議員研修会報告**

平成23年11月11日（金）、いすみ市夷隅文化会館において、千葉県南12市議会議長会主催による議員研修会が開催されました。



千葉県南部地域の12市議会から200名を超える議員が参加し、金丸弘美講師（食環境ジャーナリスト）による『地域ブランドづくりによる地域再生』と題した講演を拝聴しました。

講演の内容は、多くの先進地事例が紹介され、食で地域づくりに成功した先進地の共通点や成功するための留意点など、今後の富津市のブランド化戦略においても参考となる有意義なものでした。

君津地域水道事業統合研究会の設置について

平成22年に取りまとめられた「君津地域水道事業のあり方検討会」の報告を受け、検討を進めてきました。

その後、国の水道広域化促進の流れや、企業団の受水費の引き下げなど、今後の経営の見通しに大きな影響を与える状況となりました。

このため、新たな状況に応じて施設・財政収支計画の見直し、今後の経営のあり方など事業統合に必要な判断材料となる基本計画を新たに策定することになりました。これを検討する機関として、千葉県、木更津市、君津市、富津市、袖ヶ浦市、君津広域水道企業団で構成する研究会を設置しました。



君津広域水道企業団庁舎

研究会の性質

○事業統合の「合意」を前提とするものでなく、研究会の成果を受けて判断する。

○統合に当たって解決すべき問題の議論の場とする。

○関係団体の意思統一を図り、統合実現に必要な調整を行う。

○長期的視点に立って君津地域のあるべき姿を検討する。

研究会の構成

構成員 千葉県、木更津市、君津市、富津市、袖ヶ浦市、君津広域水道企業団

検討事項

- ① 統合の検討条件の整理
- ② 現況の把握
- ③ 水需要予測
- ④ 施設統合整備の再検討
- ⑤ 管理体制の検討
- ⑥ 財政収支計画の検討

統合後の姿を中長期的に検討し、事業統合に関する方針や今後のあり方などを統合する場合としない場合を比較し、基本計画としてまとめます。

庁舎及び大貫駅周辺地区都市再生整備計画(案)の概要

「安心と安全を実感できるまちづくり」を目標に次に掲げる各事業について平成24年度から平成28年度までの5力年で実現を目指し取り組みます。

基幹事業

- ①市道山王下飯野線(道路)
歩行者の安全性確保及び交通渋滞の解消。
- ②市道下飯野線の整備(道路)
歩行者の安全性確保及び交通の円滑化。
- ③市道小久保岩瀬線の整備(道路)
国道465号から君津大貫線までの歩行者の安全性確保及び交通の円滑化。



市道小久保岩瀬線接道地点

- ④市道太田寺谷線の整備(道路)
歩行者の安全性確保及び緊急活動の困難区域の解消。
- ⑤大貫駅地下歩道の整備(道路)
通学路及び東西を結ぶ通路と

して、市民及び来訪者の安全性の確保。

- ⑥大貫駅東口広場の整備(道路)
広場の施設改修を行い、市民及び来訪者の安全性の確保。
- ⑦大貫駅駐輪場の整備(地域生活基盤施設)
屋根がけ及び車止め等の設置により、市民の利便性向上。
- ⑧大貫駅地下歩道の防犯対策(照明・高質空間形成施設)
市民及び来訪者が安心して通行できるような安全な空間作り。

提案事業

- ①大貫駅地下歩道の防犯対策(防犯カメラ、塗装・地域創造支援事業)
市民及び来訪者が安心して通行できるような安全な空間作り。
- ②事業効果分析調査
事後評価についての調査。



大貫駅地下歩道の現況

富津市環境基本計画取組状況報告及び調査結果

環境基本計画の概要

この計画は、富津市の様々な環境の現状を整理し、環境を良くするための取り組みの基本的な枠組みを示すものです。

計画期間

平成19年に10力年計画として、環境に関する基本的な方針を定めました。

市の役割

- ①庁内関係部局間における環境施策の調整・検討。
- ②計画の進捗状況の管理。(目標の達成度チェック)
- ③環境基本計画年次報告書の作成。
- ④計画、取り組み方法、目標などの見直し。

市民の役割

環境に配慮した暮らしを自主的に、環境づくりへの取り組みに積極的に参加・協力が求められます。

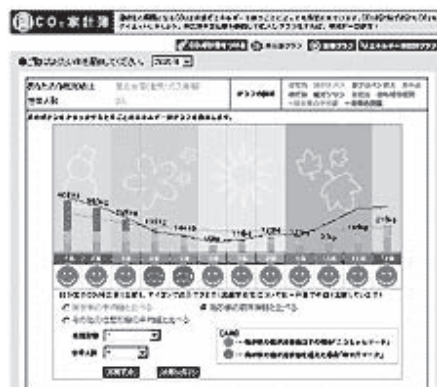
事業者の役割

事業活動による環境への負荷低減を図り、より良い環境づくりに取り組むことが求められます。

平成22年度取組実績

- ①環境家計簿「CO₂家計簿」

参加者28人



CO₂家計簿

- ②「CO₂ダイエット宣言」

参加者 市内小・中学生

2648人

- ③東京湾岸自治体環境保全会議(東京湾の水質状況の啓発活動)
(東京湾の水質状況の啓発活動)
岬、河川コミュニティポイント(湊川湊橋付近)が市内に選定され、情報提供の場、水質浄化啓発の場として活用されています。
- ⑤出前講座 2回17人参加
- ⑥ちばレジエコサポーター 登録者数440人

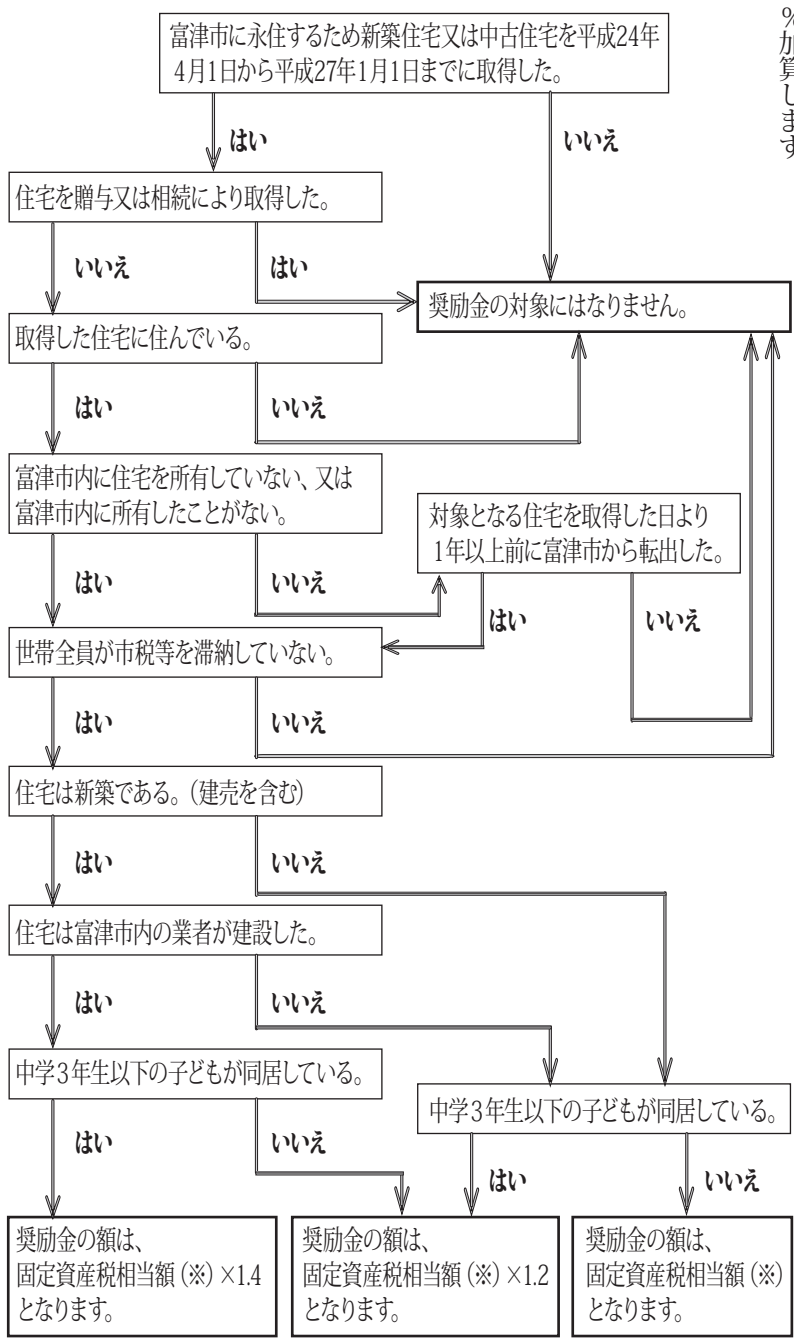
富津市定住奨励制度のご案内

富津市で住宅を取得した人に奨励金を最高で126万円交付します。



- 1 対象者** 次の3つの条件をすべて満たしている人
- ① 富津市に永住のため、富津市内に住宅を取得し（贈与・相続を除く）、居住している人
 - ② 富津市内に住宅を所有したことがない人（住宅を取得した日より1年以上前に富津市から転出した人で富津市内に住宅を所有していた場合を除く）
 - ③ 世帯の全員が市税等を滞納していないこと。
- 2 対象住宅** 平成24年4月1日から平成27年1月1日までに取得した新築住宅又は中古住宅

富津市の定住奨励金を受け取るには？



- (事業用の部分を含む併用住宅の場合は、居住用部分のみ対象)
- 3 対象土地** 対象住宅の敷地として対象者が取得（贈与・相続を除く）した土地
- 4 奨励金** 住宅と土地の固定資産税相当額。ただし、次の条件に該当する場合は、それぞれ20%加算します。

- ① 富津市内の業者を利用して新築したとき。
- ② 中学生以下の子どもが同居しているとき。
- 5 交付限度額 18万円（年間）
- 6 交付期間 対象住宅に新たに固定資産税が課税されてから7年間
- 7 申請受付 平成25年度以降（固定資産税の課税後）
- 8 その他
 - ① 住宅建設資金利子補給制度は、平成24年3月で終了します。

なお、指定金融機関等との金銭消費貸借抵当権設定契約又は保証委託契約に基づく求償債権設定契約を平成24年3月31日までに設定した人は、契約日から6か月以内に申請することができません。

② 詳細は、左記の担当課までお問い合わせください。

定住奨励制度
企画政策課（80・1223）
住宅建設資金利子補給制度
街づくり課（80・1313）

※固定資産税相当額は住宅と土地の合計です。ただし、土地は申請する人が対象となる住宅の敷地として取得（贈与・相続を除く）したものに限りま。

富津市議会改革推進研究会設置要領を定め、委員8人を選出し、議会改革を行うため調査研究会を平成22年12月から述べ12回開催し、特に平成24年の富津市議会議員一般選挙に向けた議員定数の見直しについて協議を重ねて参りました。この協議で、次の一般選挙から議員定数を4人削減し、18人とする意見が多く、定例会本会議において、議員定数を22人から18人にする条例案が賛成多数で可決されました。



千葉県流山市議会にて議会基本条例の研究を行う

研究会検討内容

区分	検討項目・事項	検討内容(意見)
議会制度改革	議員定数について	平成23年9月22日発議案第7号「富津市議会の議員の定数を定める条例の一部を改正する条例の制定について」可決。(22人から18人に)
議会の活性化	議会だよりの更なる充実について	議会だよりの内容を充実する必要。(議案に対する賛否掲載等)
	市民との報告会開催について	情報共有と議会に対する理解を深める必要。
条例の制定	議会基本条例の制定について	富津市の議会運営の最高規範を策定する必要。(通年議会・反問権等)

議会改革の内容と今後の取組み

市政の運営は、二元代表制の下で、市長と議会は市民の付託を重く受け止めて活動を行い、市長は執行機関として、議会は合議制の議事機関として、それぞれの異なる特性を活かしながら、競いそして、協力し合わなければなりません。そして、市長と議会には、緊張関係の下で、論点及び争点を明確にし、市民全体の福祉向上と地域社会の活力ある発展を目指していく使命が課せられています。



議会改革推進研究会開催時の様子

通年議会について

二元代表制の下では、議会と行政の関係は対等であると言われて

いますが、現行制度の中ではまだ首長の優位性が大きい。議会の活動能力を高めるため、この制度の導入について検討を行うことが必要と考えます。

現在、議会の招集権は首長にあるため、首長が年4回の定例会を招集することが通例となっており、議会が主体的に議を開く仕組みになっていません。

例えば、首長が年1回1月に議を開くことを招集し、議会の議決によりその会期を12月までの1年間と定めた場合、議会はそれ以降、議長の権限で再開と休会を繰り返すことにより、本会議はもとより、委員会についてもいつでも開催でき、議会運営の柔軟性・効率性を高めることができます。

反問権について

議会審議における議員と市長等との関係については、緊張関係を保持するものとする。議会における議員と議場に出席した説明員は、論点及び争点を明確にしなければならぬ。

議員は、一問一答方式を積極的に活用し、市長は議長の許可を得て、議員の質問等に対して反問することができる。

話題



1月7日(土) 富津市役所1階ロビーで平成24年富津市新春賀詞交歓会を開催。総勢400人が参加し、例年にも増して盛会に行われました。



1月8日(日) 平成24年富津市消防出初式が富津公民館で行われ、永年にわたり消防業務に精励された消防職団員89名が千葉県知事等から表彰されました。



新成人を祝福するような好天に恵まれた1月8日(日) 平成24年富津市成人式が富津公民館で行われ、新成人となられた550人のうち442人が式典に参加されました。



1月21日(土) 富津公民館で第31回富津市社会福祉大会を開催。記念講演では書家の金澤泰子氏が「ダウン症の子と共に生きて」と題して自身の子育て秘話を語られました。

お知らせ

4月22日(日)は、富津市議会議員選挙の投票日です。

現在の議会広報委員の任期は、4月で終了します。市議選が終り、新たな広報委員が決まってから発行となりますので、通常の発行日より遅れることをご了承ください。

編集後記

議会広報委員の任期は2年のため、この5名での編集も今回が最後となります。次回から新たな顔ぶれで再スタートします。各人が、今までを振り返ります。



4年間広報のあり方を問い続けた。それは議会のあり方と同じだった。議会ももっと市民の中に出ていかねば…。感謝。(平野委員長)



議会改革を進める中で、議会だよりは重要な広報であることを感じています。分かり易い内容を心がけてきました。(岩本副委員長)



「歳月人を待たず」、広報委員になって早4年。2012を語呂でプレイフ。これは「楽しい」という意味。限りあるから「楽しい」人生を！(佐久間委員)



東日本大震災から1年。地方自治のあり方を考えさせられた日々でした。ご愛読ありがとうございました。(渡辺委員)



広報委員として2年間、お世話になりました。何から伝えれば良いのか、どこまで伝えるべきなのかを考える日々でした。(十川委員)



議会だよりの編集に携わって10カ月。市民の皆様様に読み易く、分かり易い紙面とすることの難しさを発行のたびに痛感しました。(事務局)

ぜひ、議会傍聴に！

◆ 3月定例会 日程予定

2月21日(火) 10時	開会・議案の上程
2月23日(木) 10時	議案質疑
3月1日(木) 9時30分	一般質問
2日(金) 9時30分	一般質問
5日(月)	予備日
7日(水)	委員会
8日(木)	委員会
9日(金)	委員会
13日(火)	予算審査特別委員会
14日(水)	予算審査特別委員会
15日(木)	予備日
19日(月) 10時	委員長報告 議案審議・閉会

3月の議場コンサートは、1日の午前9時から吉野小学校6年生による合唱を予定しております。※日程は変更になることがありますので、議会事務局(80-1331)までお問い合わせください。